

病虫害発生予察情報

6 月月報

平成 25 年 7 月 18 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2013 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	26.7	1.2	16.6	0.4	21.1	0.6	0.0	0	62.5	119
中旬	26.2	0.4	20.3	2.7	22.9	1.6	130.0	215	19.3	48
下旬	26.6	0.5	18.8	0.0	22.1	0.0	40.5	60	38.9	140
平均	26.5	0.7	18.6	1.1	22.0	0.7				
合計							170.5	108	120.7	99

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・中旬は高く、下旬は平年並だった。

降 水 量：上旬はかなり少なく、中旬は多く、下旬は平年並だった。

日照時間：上・下旬は多く、中旬は少なかった。

上旬：前半は高気圧におおわれて晴れる日が多くなったが、後半は本州南海上にある梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨となった。

中旬：台風第 3 号や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、期間の中頃から終わりにかけて、南から暖かい空気が流れ込み気温が高くなった。

下旬：期間のはじめは、前線を伴った低気圧が東海道沖から関東の東へ通過したため雨となった。また、26 日から 27 日にかけては、前線上を東に進んだ低気圧の影響で雨となった。その他の日は、梅雨前線が関東甲信地方を離れ日本の南に停滞したため、晴れや曇りの日が多くなった。

2 作物生育概況

（1）イネ

6 月中に植付けは終了した。活着に問題はなく順調に経過している。

（2）野菜類

果菜類：ナスは 5 月の乾燥の影響により生育が遅れ、キュウリも障害果の発生が多い傾向であった。エダマメは乾燥の影響により上旬収穫のものは草丈が低く、豆の肥大も不良であったが、下旬収穫のものは回復している。スイートコーンの生育は一部の地域でやや遅れている。

葉根菜類：施設栽培のコマツナ、ハウレンソウはおおむね順調である。キャベツは 5 月の

乾燥の影響で揃いが悪く、球形も不良なものが多かった。

いも類：ジャガイモは乾燥の影響によりイモの肥大が不良傾向であった。サツマイモは乾燥で定植が遅れた地域があるが、おおむね順調である。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

5 月下旬から 6 月上旬にかけては降水量がかなり少なく、気温はやや高めに推移した。安芸クイーン、高尾、巨峰すべてで、平年よりも早めの開花始・盛であった（ - 4 ~ 7 日）。

巨峰：開花始 5 月 25 日（ - 4 日）、開花盛 5 月 28 日（ - 4 日）

安芸クイーン：開花始 5 月 25 日（ - 5 日）、開花盛 5 月 28 日（ - 5 日）

高尾：開花始 5 月 21 日（ - 6 日）、開花盛 5 月 23 日（ - 7 日）

(4) 茶樹

6 月は、平年以上の降水量があり生育は順調であった。2 番茶の収穫は、減少させる生産者が多かった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
シンクイムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	予察灯における誘殺数は少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病

< 少 > 発生は少なかった。

トマト

モザイク病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

灰色かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

葉かび病

< 並 > 発生は平年並であった。

疫病

< 少 > 発生は少なかった。

白ぶくれ症

< 並 > 発生は平年並であった。

オンシツコナジラミ

< 少 > 発生は少なかった。

タバココナジラミ

< 少 > 発生は少なかった。

オオタバコガ

< 少 > 発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病(施設)

< 少 > 発生は少なかった。

モザイク病

< 少 > 発生は少なかった。

うどんこ病

< 並 > 発生は平年並であった。

べと病

< 並 > 発生は平年並であった。

アザミウマ類

< やや少 > 発生はやや少なかった。

ナス

アザミウマ類

< 並 > 発生は平年並であった。

ハダニ類

< 少 > 発生は少なかった。

コマツナ

白さび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

炭疽病

< 少 > 発生は少なかった。

コナガ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

カブラハバチ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

アザミウマ類

< 少 > 発生は少なかった。

スイートコーン

アワノメイガ

< 少 > 発生は少なかった。

ネギ

べと病

< 少 > 発生は少なかった。

さび病

< 並 > 発生は平年並であった。

ネギアザミウマ

< 多 > 発生は多かった。

ネギハモグリバエ

< 少 > 発生は少なかった。

キャベツ

株腐病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

黒腐病

< 少 > 発生は少なかった。

コナガ

< 並 > 発生は平年並であった。

ヨトウガ

< 少 > 発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

うどんこ病

< 並 >

発生は平年並であった。

チャドクガ

< 並 >

発生は平年並であった。

(7) 島しょの病害虫

大 島：アシタバで葉枯病、フバルディアで灰色かび病及びび立枯病の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月18日	7月11日	0	0
大田市場	6月18日	7月11日	0	0
板橋市場	6月18日	7月11日	0	0
淀橋市場	6月18日	7月11日	0	0
北足立青果市場	6月18日	7月11日	0	0
昭島市場	6月4日	7月12日	0	0
八王子北野市場	6月4日	7月12日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月4日	7月12日	0	0
国立市場	6月4日	7月12日	0	0
東久留米市場	6月4日	7月12日	0	0

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。